

## はじめに

令和2年度、新型コロナウイルス感染症が収まりを見せない中であっても企業に雇用される障害者の人数は伸び続け、6月時点の厚労省集計に見る障害者雇用総数は57万人を超え、実雇用率は前年比0.04ポイント増の2.15%を記録した。

当事業団にあって当該年度は現行事業推進プランの2年目にあたったが、事業運営は前年度の後半以上に新型コロナウイルス感染症の影響を受けざるを得なかった。施設内の密を避け、消毒の徹底やアクリル板の設置等により事業団利用者と職員の安全を確保することに努めたが、ワクサポ広場など長年親しまれてきた事業が規模の縮小や一時中止を余儀なくされた。また、新宿区勤労者・仕事支援センターなどと合同実施してきた就職準備フェアはやむなく中止した。一方、企業のオンライン活用が加速する中で、事業団のオンライン環境を整備し、リモートによる企業面接や職場訪問を行い、就労希望者のモチベーションや自宅待機中の就労者の生活リズムの維持、職場への定着を図った。さらに、オンラインによる各種セミナーの実施や在宅での職業準備訓練の試みはこれからの事業展開の選択肢を広げるものとなった。

令和2年度を数値で振り返ると、新規の利用登録者が99人と前年度比で32人減少したが、累計の登録者は1,200人を超えた。新規の就職者は、区から受託している「区市町村障害者就労支援事業」での就職者と都指定事業である「就労移行支援事業」からの就職者を合わせて54人と前年度の81人には及ばないものの、コロナ禍にあって企業への働きかけや障害者本人への支援を継続することで前年度比67%を達成している。年度末現在の就労者は705人で前年度より53人の増加となった。

次に、相談支援の総数10,485件のうち、就職後の相談が71.7%を占め、新規の登録者で見ると、就職内定時や就職後に職場定着支援を希望する件数が59.6%であった。これは、前年度と同様の傾向である。

いわゆる障害者総合支援法に基づく「就労移行支援事業」の月別利用者の合計は156人で前年度より8人減少し、同事業からの新規就職者数は5人と前年度より5人減少し、就職率は57.1%、定着率については90%であった。

次に、障害別に新規登録者や新規就職者、離職者の数値をみると、全国的な傾向と同様、精神障害者の占める割合が引き続き高い。新規登録者の66.7%、新規就職者の75.9%、離職者の66.0%が精神障害者であった。

令和2年度は事業運営においてオンラインを活用することが増えたが、一方で、障害者本人、企業ともにリアルなひざ詰めでの対話を求める場面もあり、リアルとデジタルのバランスを取ることが重要であった。また、障害者にとって困難な雇用環境下で当事業団に対する強い支援ニーズがあったが、それに応えるためには、地域の各支援事業所や特別支援学校、医療機関、行政等との連携が不可欠であることを改めて認識することとなった。

# 事業の概要

## 1 事業の構成

| 定款第 4 条に定める事業 |                                   | 実施事業<br>(公益目的事業 1)                   |
|---------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 第 1 号         | 就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援         | 主として( 2 )<br>区市町村障害者就労支援事業<br>【受託事業】 |
| 第 2 号         | 事業主に対する雇用管理上の相談助言                 |                                      |
| 第 3 号         | 関係情報の提供及び普及啓発                     |                                      |
| 第 4 号         | 地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援 |                                      |
| 第 5 号         | 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業            | 就労移行支援事業(就労定着支援事業を含む。)<br>【訓練事業】     |

- 平成 25 年 4 月 1 日より東京都から公益法人認定を受けて公益目的事業として実施している。
- 訓練事業においても、必要に応じて又は受託事業と連携して、第 1 号～第 4 号に相当する業務を実施している。

## 2 実施事業

### ( 1 ) 区市町村障害者就労支援事業【受託事業】

東京都の補助事業「区市町村障害者就労支援事業」の実施のために杉並区が定める「杉並区障害者就労支援センター事業実施要綱」に基づいて、区からの事業委託を受けて実施している。

#### 業務内容

- 利用登録
- 就労面の支援
- 生活面の支援
- 地域開拓促進に係る支援
- 職業能力、適性の評価
- 特別支援学校等との連携
- 地域の福祉施設等における一般就労への支援
- (区が行う成人期発達障害者の)職業準備プログラムへの協力

## (2) 就労移行支援事業【訓練事業】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業で、東京都から事業者指定を受けて実施している。当事業は、利用実績に応じて給付される訓練等給付金を主たる財源として独立採算の視点を持って運営している。

| サービスの種類  | 指定年月日            | 設置者                 | 事業所名           |
|----------|------------------|---------------------|----------------|
| 就労移行支援事業 | 平成 24 年 4 月 1 日  | 公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団 | 杉並区障害者雇用支援センター |
| 就労定着支援事業 | 平成 30 年 10 月 1 日 |                     |                |

## 3 推進プラン

事業団の5か年の事業計画として、「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019～2023年度」を平成30年度に策定した。推進プランは、障害者雇用の情勢や区の計画との整合を図りつつ、前「推進プラン」を改定したもので、プラン期間中の事業の方向性と各事業項目(新規11項目、継続・拡充10項目、合計21事業項目)の年次プランを示し、2023年度(令和5年度)までの達成指標と数値目標を掲げている。

- ・ 推進プラン事業体系表 (P16 参照)
- ・ 推進プランの達成指標 (P17 参照)

## 4 事業団の職員構成

(単位:人)

|              | 受託事業 | 訓練事業 | 法人管理 | 合計 |
|--------------|------|------|------|----|
| 事務局長(常務理事兼任) |      |      | 1    | 1  |
| 常勤職員         | 4    | 2    |      | 6  |
| 嘱託員          | 6    | 3    | 1    | 10 |
| パートタイマー      | 2    | 1    |      | 3  |
| 区派遣職員        |      |      | 2    | 2  |
| 合計           | 12   | 6    | 4    | 22 |

人数は事業年度における定数

# 事業実績

## 1 障害者に対する就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援

(第1号事業)

### (1) 就労相談

#### 相談・支援

就労を希望する者及び現に就労している者に対し就労に関する情報を提供し、日常生活面を含めた職業生活を送るための幅広い相談業務を実施した。一方で、就労準備の前段階として区内福祉施設等の利用が望ましい方には施設情報などを利用者のニーズに応じて提供した。当該年度の相談支援件数は、前年度より全体で532件、4.8%減少した。相談方法別で見ると電話等の相談が187件、2.5%増加したが訪問等は749件で、32.3%減少した。就職時期別では、就職前の相談が883件で、23.0%減少したが、就職後の相談は351件で、4.9%増加した。

( )は前年度実績、以下同じ

相談・支援件数 10,485件 (11,017件) 【推進P指標】

|         |        |        |          |
|---------|--------|--------|----------|
| 方法別内訳   | 電話等    | 7,574件 | (7,387件) |
|         | 来所     | 1,339件 | (1,309件) |
|         | 訪問等    | 1,572件 | (2,321件) |
| 対象者別内訳  | 利用者・家族 | 8,176件 | (8,792件) |
|         | 企業・事業所 | 2,309件 | (2,225件) |
| 就職時期別内訳 | 就職前    | 2,963件 | (3,846件) |
|         | 就職後    | 7,522件 | (7,171件) |

#### 相談時間帯の拡大【推進】

前年度に引き続き、定着支援の利用者増加に対応するため相談時間を週2回、19時まで延長して相談体制の充実を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により当該年度は4、5月の2ヵ月間は一時中止し、6月から実施した。

平日夜間相談 合計 80回 延べ 267件 平均 3.3件/回

#### 求人情報検索サービスの提供【推進】

ハローワーク求人情報提供サービスをリアルタイムで利用できるよう、システムのバージョンアップなど必要な対応を行った。

## (2) 利用者に対する就労・生活支援

在宅や福祉施設に在籍する就労希望の障害者、就業しているが定着支援あるいは転職を希望する障害者などを対象に、就労面及び生活面にわたる支援をハローワークや企業、各支援機関、保健センター等と連携して実施した。

### 就職準備・就職活動支援

利用登録を経て、就労準備の理解や求職者登録、求人検索、体験実習の実施、委託訓練の申込み、応募書類作成の助言、面接同行、雇用契約等にかかる就職までの一連の支援を関係機関等と連携しながら実施した。

- ・当該年度の新規登録者は5年ぶりに100名を割り99名となった。事業団の支援による新規就職者は、前年度より27名減少し54名となった。
- ・年度末累計登録者数は対前年度比6.9%増となった。年度末累積登録者のうち就労者の占める割合は57.2%となっている。

### 登録者数

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 当該年度の新規登録者 | 99人 (131人)【推進P指標】 |
| 当該年度の登録抹消者 | 19人 (9人)          |
| 年度末の累積登録者  | 1,232人(1,152人)    |

#### 新規登録者の利用に至る経路別内訳

|            |           |
|------------|-----------|
| ハローワーク     | 14人 (27人) |
| 職業センター     | 2人 (0人)   |
| 特別支援学校     | 24人 (22人) |
| 福祉サービス事業所  | 18人 (21人) |
| 福祉事務所等行政   | 4人 (11人)  |
| 直接利用       | 15人 (21人) |
| その他(医療機関等) | 22人 (29人) |

### 就職者数

|                |                  |
|----------------|------------------|
| 当該年度の新規就職者数    | 54人 (81人)【推進P指標】 |
| (事業団支援による就職者数) |                  |
| 年度末の就労者数       | 705人 (652人)      |

#### 新規就職者の事業別内訳

|          |           |
|----------|-----------|
| 受託事業就職者数 | 49人 (71人) |
| 訓練事業就職者数 | 5人 (10人)  |

### 生活面の支援

- ・福祉事務所や保健センター、相談支援事業所等との連携による生活面の支援を就労面の支援と一体的に行った。

・生活スキル向上プログラム【推進】(再掲 P13)

雇用支援センターの独自事業として、将来的な就労生活に必要なスキルの向上のため、通所(週2回程度)によるプログラムを実施した(実利用者6名)

|        |                 |        |          |
|--------|-----------------|--------|----------|
| 生活相談件数 | 6,379件 (7,519件) |        |          |
| 内容別内訳  | 日常生活相談          | 3,237件 | (3,902件) |
|        | 職業生活相談          | 2,922件 | (3,243件) |
|        | 社会生活相談          | 176件   | (314件)   |
|        | 自己決定相談          | 44件    | (60件)    |

職場定着支援

- ・就労中の障害者と家族、企業に対して就労継続にあたって課題解決のための面談、就労先訪問、電話相談等による支援を実施した。
- ・当該年度は、定着支援対象者数は8.1%増加し、定着支援件数は6.5%増加し、職場定着率は2.1ポイント増加した。

職場定着率等

定着支援対象者 705人 (652人) の「年度末の就労者数」に同じ

|       |      |      |        |
|-------|------|------|--------|
| 事業別内訳 | 受託事業 | 691人 | (634人) |
|       | 訓練事業 | 14人  | (18人)  |

新規登録者のうち定着支援からの利用者 59人 (58人)  
( 就職時又は就職後からのサービス利用者)

定着支援件数 6,568件 (6,167件)

職場定着率(12ヶ月 1) 87.7% (66.7%) 【推進P指標】

1 前年度就職者のうち就職後12ヶ月経過時の就労継続者の率

職場定着率(24ヶ月 2) 60.3% (65.7%)

2 前々年度就職者のうち就職後24ヶ月経過時の就労継続者の率

職場定着率(36ヶ月 3) 58.2% (51.6%)

3 前々々年度就職者のうち就職後36ヶ月経過時の就労継続者の率

余暇支援

・ワクサポ広場(定期)

就職後の不安や悩みの解消、ビジネスマナーの再学習、働く障害者の余暇の充実を目的とした余暇支援事業である「ワクサポ広場」を、就労継続中の障害者を対象に月2回(原則として第1・3金曜日オフタイム)会場が密にならないよう3グループに分け、開催時間も短縮して実施した。

ワクサポ広場

75人 [ 7回 ] (633人)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止の回数多数あり

・交流会、茶話会（不定期）

就労継続中の知的障害者を対象とした「交流会」、就労継続中の精神・発達障害者を対象とした「茶話会」、就労継続中の発達障害者本人と家族を対象にした「交流会」は中止する一方、オンラインでの「交流会」を試行した（4人）

交流会（知的障害者向け） なし [ - ] （35人）

茶話会（精神・発達障害者向け） なし [ - ] （11人）

本人・家族交流会（発達障害者向け） なし [ - ] （なし）

・パソコン講習会

就労継続中の障害者の中でパソコンのスキル向上を目指す者に対して、パソコン講習会を実施した。

パソコン講習会 29人 [ 6回 ] （32人）

余暇支援合計参加者数 104人 13回開催 （711人）

就職準備フェアの開催（杉並区・新宿区・中野区3事業団合同）

当該年度の実施に向けて3事業団を中心に検討を重ねた結果、「障害者（知的・精神）のための就職準備フェア」は中止したが、次年度に方法を変えて実施することとした。

### （3）職場体験機会の提供

#### 職場体験実習

区内の福祉施設利用者や地域の在宅者等で就職を希望する障害者が仕事への自信を持ち、就職への意欲を高められるように、企業開拓した企業や区役所等での職場体験実習を区の体験実習要綱に基づいて実施した。

・企業見学会と企業等体験実習の充実

当該年度、企業見学会は中止したが、企業等体験実習では区内の農協等での短時間型の体験実習を実施した。

職場体験実習 15人 （19人）

職場体験実習（杉並区内事業所）一覧・・・[支援実績別表1\(P18\)](#)

#### 特別支援学校等実習受け入れ

就労移行支援事業では、特別支援学校等からの希望により実習生を受け入れ、実習を通して職業能力・適性の把握、職業意識・就労意欲の向上を図った。

特別支援学校等実習受入 10人 (12人)

特別支援学校等生徒の実習・体験学習(事業団受入)一覧

・・・支援実績別表2(P18)

#### (4) 職業適性の評価・アセスメント

##### 職業評価

支援機関及び相談者本人から依頼を受け、本人の職業適性や就労準備性の状況を把握し、支援計画を作成、実施するために、事業団において職業評価を行った。また、その後評価結果についての振り返りを行うことで就労活動に活用した。

職業評価実施人数(作業評価等) 6人 (4人)

##### 就労アセスメント

障害者雇用支援センターでは、区の依頼により特別支援学校在校生等を対象とする「就労系福祉サービスの利用に係る職業評価」を実施した。

就労系福祉サービスの利用に係る職業評価 2人 (7人)

##### アセスメントシート等の開発【推進】

パソコンの操作入力作業に自信のない利用者を対象に基本的スキルの程度をアセスメントし、利用者自身の就労活動等に活用するため、パソコン・スキルチェックのツールの新たな開発検討と試行を行った。

## 2 事業主に対する雇用管理に関する事項についての相談助言等の支援

(第2号事業)

### (1) 情報の提供

#### 企業向けパンフレット等の配付

新規の企業開拓及び企業実習の開拓、地域の事業主等関係機関への啓発活動を目的に、企業向けパンフレット等を随時配付し、障害特性や障害者雇用等の理解を得るための資料とした。

#### 個別企業相談

障害者を雇用している、又は雇用する意向のある事業主に対し、障害者の雇用・職場定着に関する助言や仕事の切り出し、雇用職場の環境整備、その他の助言・援助を行った。

相談件数 第1号事業(1)に記載

訪問社数 第3号事業(4)に記載



## (2) 企業向けセミナー等の開催

障害者雇用への理解を深めることを目的に主に事業主や人事担当者等に向けて、セミナーを開催し、障害者雇用の促進と就業障害者の職場定着を図った。

企業向けセミナー 1回開催 . . . 支援実績別表3 - 4 (P20)

## 3 障害者就労に関する情報の収集提供及び普及啓発(第3号事業)

### (1) 広報活動

「ワークサポート杉並だより」

事業団の活動状況等を紹介する広報誌「ワークサポート杉並だより」を発行し、タイムリーな情報の提供に努めた。

発行部数 1,300部/回 年4回発行

事業団ホームページ

- ・障害者と企業担当者等に向けて、事業団の活動内容、活動状況を紹介した。
- ・各種セミナーや就職相談会の紹介等、イベント情報を提供した。
- ・「みんながんばってます」コーナーと「会報(ワークサポート杉並だより)」アーカイブページを提供した。
- ・事業団の情報開示として、事業計画書・収支予算書、事業報告書・決算書等の資料を掲出した。

その他普及啓発

「杉並区障害者週間事業」のイベントに参加し、事業団活動や障害者の雇用促進について普及啓発を行った。

地域イベント参加一覧 . . . 支援実績別表4 (P20)

職員の講師派遣

関係機関等で実施されるセミナーの講師として職員を派遣し、事業団事業の説明や都・区内の障害者雇用の現状、職業準備性の向上などの雇用支援に係る情報を提供した。

### (2) セミナー等の開催

障害者やその家族、就労継続支援B型事業所や相談支援事業所などの関係職員、企業の社員等が障害者の一般就労について考える機会を提供し、障害者雇用に係る普及啓発を行った。また、事業団の活動内容を紹介した。

- ・若年層を対象としたコミュニケーション講座 【推進】  
杉並区就労支援センター(すぎ JOB)と共催で、日頃から対人コミュニケーションに自信のない利用者を対象に自己分析や自己PRの作成などを行った。

セミナー等開催一覧 …… 支援実績別表 3 - 1 ~ 5 (P19-20)

### (3) 就労情報の収集

公共職業安定所や民間の就職支援事業所から就労情報の収集を行うとともに、同所の提供する求人情報をオンラインでリアルタイムに受ける環境を整備〔第1号事業に記載〕した。新宿公共職業安定所、中野区障害者福祉事業団、新宿区勤労者・仕事支援センター、中野特別支援学校等と情報交換を行い、就職と実習の受入を希望する企業情報を収集した。

また、広域の就労支援機関連絡会等に積極的に参加し、意見交換や就労等の情報の収集を行った。

### (4) 障害者就労に関する調査・研究

職場開拓の調査・研究

担当制による開拓作業を実施したほか、職場訪問の情報を月に2回開催している職員ミーティングで報告し、開拓方法等を検討した。また、発達障害者の就労準備等の支援を行う専門機関を訪問し収集した効果的な支援方法について研究した。

区内企業の職場開拓

東京労働局に相談の上、「ハローワーク新宿管内の民間企業の障害者雇用状況報告提出企業一覧」の行政文書開示請求を行った。また、障害者雇用に関する様々な情報の提供を希望する区内企業に、障害者の法定雇用率の引き上げ等の情報提供を郵送等で行った。

職場開拓訪問企業社数 区内 10社 【推進P指標】  
(区外 15社)

【参考】「中小企業障害者雇用応援連携事業」東京しごと財団  
東京都の外郭団体「東京しごと財団」では、都内の障害者就業・生活支援センターと連携して、障害者雇用を進めていく必要のある中小企業に対して、個別訪問による制度説明や雇用前後のフォローアップ提案等の事業を行っている。

#### 短時間雇用の検討 【推進】

- ・令和2年10月に文京区障害者就労支援センターが主催した講演会「超短時間雇用と地域の障害者雇用の可能性～新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で～」を受講し、事業団内で共有した。
- ・令和2年度は利用者の希望と状況に応じて、ハローワーク求人の検索、これまで取り引きのある企業へのアプローチなどを通じて、短時間の就労・雇用の推進に努めた。

短時間新規就職者数 13人 (24人)

#### 利用者等を対象とした調査・研究

##### ・新規就職者に対するアンケート

当該年度就職者を対象に、就労に至るまでの過程で有効な支援を提供できたか、今後どのような支援を希望するか等について顧客満足度調査を実施した。

実施方法：四半期ごとに就職者を集計し調査票を送付

送付数 39件

回収数 18件 (回収率46.2%) 数値は令和2年12月末現在

## 4 地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援

### (第4号事業)

#### (1) 区内福祉施設等における就労促進への支援

##### 区内福祉施設

区内福祉施設等に在籍している障害者の一般就労を促進するため、各施設等を定期的に訪問し、施設職員と連携して企業等への就労に向けた支援を実施した。また、企業担当者を講師に招き施設職員を対象とした就労支援講座を2回実施した。

さらに、就労情報を希望する5施設にハローワーク等の求人情報などを計235回、リアルタイムで提供した。

##### 特別支援学校

・特別支援学校の卒業前に行う企業実習期間において、職場訪問等に事業団職員が同行したり、入社前オンライン面談に参加するなどして連携を強化した。

・特別支援学校を訪問して在校時からの連携強化に努めた。

##### すぎJOB等

杉並区就労支援センター(すぎJOB・すぎトレ)等を定期的に訪問し、事業説明を行うなど事業団の周知と新たな利用者の確保に努めた。

施設等訪問 延べ 40件 (31件)

|                |    |     |      |
|----------------|----|-----|------|
| 特別支援学校への協力     | 延べ | 16件 | (9件) |
| 杉並区就労支援センター説明会 | 延べ | 3回  | (2回) |

## (2) 区内関係機関等ネットワークを活用した支援

### 雇用支援ネットワーク会議の開催

障害者の就職及び職場定着のための支援を地域で効果的に行うため、区内の作業所、相談支援事業所、公共職業安定所、特別支援学校等に所属する職員で構成された実務担当者による雇用支援ネットワーク会議を月例で開催した。

また、障害者の就職活動の支援に必要な着眼点や技法を学ぶために、事例検討・企業担当者による講話・研修等を実施し、地域の支援力のスキルアップに努めた。

実務担当者会9回（一部担当者会及び企業見学会は中止）

雇用支援ネットワーク会議開催一覧・・・[支援実績別表5\(P21\)](#)

### 地域の相談支援機関との連携の強化 【推進】

- ・具体的なケースを通じて、障害者地域相談支援センター及び特定相談支援事業所と積極的に情報や課題の共有、連携を図った。

### 医療機関等との連携の強化 【推進】

- ・都立松沢病院、昭和大学付属烏山病院を訪問すると共に、初台リハビリテーション病院のケースワーカーの来団時などをとらえ、事業団パンフレット等に基づき事業内容を説明し、周知を図った。
- ・杉並区地域生活支援担当が主催する「高次脳機能障害者関係機関連絡会」及び「同セミナー」に随時参加するなど、定期的に連携を図った。

### 支援困難ケースへの対応力の強化 【推進】

- ・社会福祉士兼臨床心理士の専門家を事業団に招いて「使用者による障害者虐待防止」に関する事例検討を行い、支援困難ケースの対応に活かせるようにした。

## (3) 研修会への参加及び実施

### 支援員研修（事業団主催）

事業団や区内作業所等における就労支援機能強化と支援担当職員のレベルアップを目的に、雇用支援ネットワーク会議における地域の支援者向けセミナーを通じて他の障害者就労支援機関等や障害者雇用を進めている企業の取り組み事例などを学んだ。

参加者 延べ 39人

支援員研修（他機関主催）

効果的効率的な就労支援を行うため、東京障害者職業センター等が実施する職業リハビリテーションに係る情報の提供及び相談、ネットワークの技法、その他障害の特性の理解とその援助の方法についての専門的研修に職員を参加させた。

その他、関係機関・団体の主催する研修等に職員を参加させ、障害の特性や権利擁護、障害者虐待防止、福祉・労働関係法制度等に関する知識の習得を行った。

参加職員 延べ 15人

## 5 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業（第5号事業）

事業所 杉並区障害者雇用支援センター

### （1）就労移行支援事業の実施【訓練事業】

利用対象者の安定的確保

区内の福祉施設、福祉事務所、特別支援学校、保健センター、中部総合精神保健福祉センター、杉並区主催の障害者通所施設入所調整会議等との情報交換を通じて、企業等での一般就労の意向がある障害者で、職業準備性の訓練を必要とする就労移行支援事業利用対象者の把握に努めた。また、見学や実習の受け入れ等により利用者の安定的確保に努めた。

利用定員は20名で、杉並区等から当該サービスの支給決定を受けた方を利用対象者とした。

訓練プログラムの実施

一般就労希望の障害者が、就労に必要な知識・能力と働くことへの意欲の向上を図るため、又、就職後は安定した職業生活をおくることのできるような訓練プログラムを実施した。

具体的には障害者の特性と一般企業が求める障害者雇用での業務内容とをマッチングさせるために必要な訓練プログラムを開発し、障害者雇用で求めるビジネスマナー研修、コミュニケーショントレーニング、パソコン訓練、区内企業・事業所での清掃及び接客訓練などのプログラムを導入することで、より多様で実践的な職業準備訓練を実施した。

また、最初の緊急事態宣言時（4月～6月）に訓練プログラム利用者全員を在宅訓練に切り替え、オンラインによる課題の提供及びZoomの導入による面談の遠隔実施など、利用者のモチベーションが低下しないよう工夫し成果を上げた。

さらに、利用者の特性、就職に向けた能力の向上などの評価を3カ月ごとに行うとともに、利用者の適性を踏まえた職場開拓に力を注いだ。

当該年度は、具体的に次のプログラム等を実施した。

- ・生活スキル向上プログラム【推進】(再掲P6)  
雇用支援センターの独自事業として、就労生活に必要なスキルの向上のため、通所(週2回程度)によるプログラムを実施した(実利用者6名)。
- ・就職者によるピアサポートの実施【推進】  
雇用支援センターを利用して就職した元訓練生2名を別々に招き、現在訓練中の利用者に対して就労までの具体的な体験や就労後の職場での経験を講話してもらい、又、講話後は、訓練生の相談にも乗ってもらうことを通じて現訓練生の就労準備に対するモチベーションを高めることができた。
- ・発達障害者支援プログラム  
発達障害者向けの就労移行支援事業所から専門スタッフを2回招き、講義を通じて障害特性への支援上のアプローチ方法などを学び、支援員のスキルアップを図った。
- ・区内就労移行支援事業情報連絡会の実施  
支援員のスキル向上、福祉サービスの向上を地域全体で目指すため、区内の就労移行支援事業所(計7所)での情報連絡会を3回試行実施した。

#### 第三者評価

サービス向上と利用希望者の事業所選択に資するため、3年ごとに福祉サービス第三者評価を受審している。直近の受審は平成30年度で、評価結果は事業団ホームページから閲覧できるよう提供している。

#### 訓練事業からの就職状況

(ア) 就労移行支援事業 当該年度就職者状況 (単位:人)

|      | 知的障害 | 精神障害 | 発達障害 | 合計 |
|------|------|------|------|----|
| 就職者数 | 3    | 1    | 1    | 5  |

(イ) 利用者(契約者)数、就職者数 [利用定員20人] (単位:人)

|      | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 利用者数 | 25   | 28   | 23   | 21   | 17   |
| 就職者数 | 6    | 10   | 10   | 10   | 5    |

(ウ) 就職率、定着率(12ヶ月経過) (単位:%)

|                | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|----------------|------|------|------|------|------|
| 就職率<br>【推進P指標】 | 54.5 | 76.9 | 76.9 | 90.9 | 57.1 |
| 定着率            | 81.8 | 83.3 | 90.0 | 80.0 | 90.0 |

就職率：当該年度中に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち就職した者の割合  
 定着率：前年度の就職者のうち、就職から12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

**(2) 就労定着支援事業【訓練事業】【推進】**

就労移行支援事業所等から就職し、就職後6ヶ月を経過した者で、行政から当該サービスの支給決定を受けた方を対象に、最長で3年間、原則月1回以上の職場訪問による面談等を行い、就労及び生活上の課題について企業、家族、関係機関との連携・調整を行うことにより、就労の安定的な継続を図っている。平成30年10月より事業を開始している。

(ア) 就労定着支援事業 当該年度利用者状況 (単位：人)

|      | 知的障害 | 精神障害 | 発達障害 | 合計 |
|------|------|------|------|----|
| 利用者数 | 8    | 1    | 5    | 14 |

(イ) 利用者(契約者)数 (単位：人)

|      | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|
| 利用者数 | 13   | 18   | 14   |

## 6 推進プラン 「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019～203」

(定款第4条

の該当号数)

### (1) 推進プラン事業体系表

|                       |                  |                                 |    |
|-----------------------|------------------|---------------------------------|----|
| 切れ目ない支援<br>相談から職場定着まで | 相談環境の整備と相談機能の充実  | 相談時間帯の拡大【新規】                    | 1号 |
|                       |                  | 求人情報検索やアセスメントシート等を活用した相談の充実【新規】 | 1号 |
|                       | 安定して働き続けられるための支援 | 就労定着支援事業の充実【新規】                 | 5号 |
|                       |                  | 就職している知的障害者及び精神・発達障害者の余暇活動支援の充実 | 1号 |
|                       |                  | 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施         | 3号 |
|                       | 多様な働き方のできる職場の開拓  | 区内企業の職場開拓                       | 3号 |
| 短時間就労に向けた取り組みの強化【新規】  |                  | 3号                              |    |
| 働くための能力の向上を支援         | 発達障害者に対する支援の強化   | 発達障害者支援プログラムの実施                 | 5号 |
|                       |                  | 若年層を対象にしたコミュニケーション講座の実施【新規】     | 3号 |
|                       | 就労移行支援事業の充実      | 就職者によるピアサポートの実施【新規】             | 5号 |
|                       |                  | 施設外活動の利用による訓練プログラムの実施【新規】       | 5号 |
|                       | 働くために必要な生活力の向上   | 生活スキル向上プログラムの実施【新規】             | 1号 |
|                       |                  | 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施【の再掲】    | 3号 |
| 関係機関等との連携による支援力の強化    | 区内福祉施設への支援・連携の促進 | 施設指導員の就労支援活動をサポート               | 4号 |
|                       |                  | 企業見学会と企業等体験実習の充実                | 1号 |
|                       | 特別支援学校との連携の強化    | 就職する特別支援学校生徒に対する職場定着支援の充実       | 4号 |
|                       |                  | 特別支援学校の生徒・保護者に対する支援の充実          | 4号 |
|                       | 関係機関との連携強化       | 地域における相談支援機関との連携の強化【新規】         | 4号 |
|                       |                  | 医療機関等との連携の強化【新規】                | 4号 |
|                       |                  | ネットワーク機能を活用した支援体制づくり            | 4号 |
|                       |                  | 支援困難ケースへの対応力の向上【新規】             | 4号 |



(2) 推進プランの達成指標 (数値目標)

|                  | R1 年度実績  | R2 年度実績         | R3 年度目標  | R5 年度目標  |
|------------------|----------|-----------------|----------|----------|
| 就職者数 1           | 81 人     | <b>54 人</b>     | 80 人     | 90 人     |
| 職場定着率 2          | 66.7%    | <b>87.7%</b>    | 80%      | 85%      |
| 新規登録者数           | 131 人    | <b>99 人</b>     | 100 人    | 100 人    |
| 相談件数 3           | 11,017 件 | <b>10,485 件</b> | 11,000 件 | 13,000 件 |
| 区内企業訪問社数         | 17 社     | <b>10 社</b>     | 60 社     | 60 社     |
| 就労移行支援事業利用者就職率 4 | 90.9%    | <b>57.1%</b>    | 85%      | 85%      |

1 就職者数

事業団の登録者であって、当該年度中に一般企業等へ就職した人数

2 職場定着率

事業団の就労定着支援の対象者で、前年度の4月1日～3月31日の間に一般企業等へ就職した者のうち、12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

3 相談件数

電話、来所、訪問等で就労相談を受けた延べ件数

4 就労移行支援事業利用者就職率

当該年度の4月1日～3月31日の間に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち、一般企業等へ就職した者の割合

## 7 支援実績別表

別表1 職場体験実習（杉並区内事業所）

|        | 実習場所       | 実習内容                                    | 実習の時期                   | 実習者数 |
|--------|------------|---|-------------------------|------|
| 短時間型   | JA 東京中央    | 草取り、収穫等                                 | 11月<br>(1日間)            | 1人   |
|        | コモン計画研究所   | PC入力                                    | 1月(1日間)                 | 1人   |
| 体験型    | コモン計画研究所   | PC入力、事務補助等                              | 7月<br>(各3日間)            | 2人   |
|        | 区役所        | 封入、丁合、シール貼り、スタンプ押し、チラシの仕分け等の軽作業         | 7~8月、11月<br>(3・4日間)     | 2人   |
|        | ゆうゆう館      | 受付、部屋の消毒作業・清掃                           | 8月、9月<br>(3・5日間)        | 2人   |
|        | ヨークフーズ阿佐谷店 | 品出し、商品棚整理                               | 8月(3日間)                 | 1人   |
| 実践型    | 杉並区社会福祉協議会 | 宛名シール貼り、会報発送業務の軽作業等                     | 9~10月、11~12月<br>(各5日間)  | 2人   |
|        | 阿佐谷図書館     | 本の返却、スタンプ押し等の軽作業                        | 9~10月、11~12月<br>(各5日間)  | 2人   |
| チャレンジ型 | 区役所        | 封入、丁合、テーブル拭き、シール貼り、スタンプ押し、リレットの仕分け等の軽作業 | 12~1月、2~3月<br>(18・25日間) | 2人   |

別表2 特別支援学校等生徒の実習・体験学習（事業団受入）

| 学 校                 | 学 年 | 実習の時期   | 実習者数 |
|---------------------|-----|---|------|
| 永福学園<br>(肢体不自由教育部門) | 3年生 | 7月13日~17日(1人)   | 1人   |
| 中野特別支援学校            | 3年生 | 7月27日~31日(1人)   | 1人   |
| 練馬特別支援学校            | 3年生 | 8月31日~9月4日(1人)  | 1人   |
| 大宮中学校<br>(特別支援学級)   | 3年生 | 9月7日~11日(1人)<br>9月28日~10月2日(1人)<br>10月5日~9日(1人)<br>10月12日~16日(1人) | 4人   |
| 稔ヶ丘高校               | 5年生 | 11月16日~20日(1人)  | 1人   |
| 学芸大学附属特別支援学校        | 3年生 | 11月24日~30日(1人)  | 1人   |
| 永福学園<br>(肢体不自由教育部門) | 3年生 | 2月1日~5日(1人)   | 1人   |

**別表3 - 1 若年層を対象にしたコミュニケーション講座**

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 実施日             | 令和2年7月9日(木) 令和3年1月27日(水)  |
| 対象者             | ワークサポート杉並及び杉並区就労支援センター利用者 |
| 場 所             | ウェルファーム杉並 セミナー室           |
| テーマ<br>・<br>内 容 | 「自己理解プログラム体験」自己分析、自己PRの作成 |
| 講 師             | (株)カイエン 就労支援担当            |
| 参加者             | 第一回4人 第二回8人               |

**別表3 - 2 地域の支援者向けセミナー（雇用支援ネットワーク会議）**

|                 |  |
|-----------------|--|
| 実施日             | 令和2年10月13日(火)<br>令和3年 1月12日(火)                   |
| 対象者             | 障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員                         |
| 場 所             | ワークサポート杉並 会議室                                    |
| テーマ<br>・<br>内 容 | 企業での実習とアセスメントについて<br>在宅就労支援の取り組み（準備と実践）《オンライン研修》 |
| 講 師             | (株)コモン計画研究所長<br>就労移行支援事業所 DO-will 施設長            |
| 参加者             | 22人<br>17人                                       |

**別表3 - 3 家族向けセミナー・交流会**

|                 |  |
|-----------------|--|
| 実施日             | 令和3年3月8日(月)  |
| 対象者             | 企業就労を考えている障害のある方の家族<br>障害者施設などの関係機関の職員                   |
| 場 所             | 障害者福祉会館 第一、二会議室  |
| テーマ<br>・<br>内 容 | 障害のある子の家族が知っておきたい「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備（親なきあとのために今から準備すること） |
| 講 師             | 渡部行政書士事務所「親なきあと」相談室代表                                    |
| 参加者             | 23人  |

別表3 - 4 企業向けセミナー

|                 |  |
|-----------------|--|
| 実施日             | 令和3年3月5日(金)  |
| 対象者             | 事業主、人事担当者、障害者施設等の関係職員  |
| 場 所             | コミュニティー・プラットホーム・あだち  |
| テーマ<br>・<br>内 容 | 第一部 安心して働き続けられる企業とは<br>・講演<br>第二部 職場定着における企業の課題について<br>・Zoomによる質疑応答、意見交換<br>セミナーの様様を録画し、後日、You Tubeによる動画配信 |
| 講 師             | 東京障害者職業センター 次長   |
| 参加企業            | 5社   |

別表3 - 5 ワークサポートセミナー(区民向けセミナー)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 実施日             | 令和3年3月24日(水)   |
| 対象者             | 杉並区内在住の方、企業就労を考えている障害のある方、障害のある方のご家族、障害者施設等の関係職員、人事担当者   |
| 場 所             | コミュニティー・プラットホーム・あだち  |
| テーマ<br>・<br>内 容 | 「～みんなであなたを支援します～ 就労支援における、企業と地域事業所の役割について」<br>第一部 企業での就労支援について<br>・講演<br>第二部 地域支援の役割について<br>・パネルディスカッション<br>セミナーの様様を録画し、後日、You Tubeによる動画配信 |
| 講 師             | (株)パーソルサンクス サポート本部人事部人財開発室 マネージャー  |
| パネラー            | 杉並区障害者地域相談支援センター すまいる高井戸 センター長<br>NPO法人 どんまい福祉工房 施設長<br>ワークサポート杉並 就労支援担当<br>就労している障害のある方の家族  |

別表4 地域イベント参加一覧

| 実施日                       | イベント名                    | 会 場          | 内 容                          |
|---------------------------|--------------------------|--------------|------------------------------|
|                           | 福祉会館<br>まつり              | 障害者福祉<br>会館  | (中止)                         |
| 12月1日(火)<br>～<br>12月3日(木) | 杉並区障害者<br>週間事業           | 区役所          | ・障害者団体・施設紹介映像(スライド)<br>の投影など |
|                           | 地域美化事業<br>支援活動<br>(清掃実習) | 下高井戸<br>八幡神社 | (中止)                         |

別表5 雇用支援ネットワーク会議（実務担当者会9回・企業見学会を含む中止3回）

| 令和2年度の実施目標 |        | 「支援体制づくりと支援力の強化」  |     |
|------------|--------|---|-----|
| 回数         | 日程     | 内容  | 備考  |
| 第1回        | 4月14日  | (新型コロナウイルス感染症の影響により、会議中止)   |     |
| 第2回        | 5月12日  | (新型コロナウイルス感染症の影響により、会議中止)   |     |
| 第3回        | 6月9日   | ・自己紹介 ・「職場実習事業」等の説明について<br>・令和2年度実施計画について ・近況報告、連絡事項  | 24名 |
| 第4回        | 7月14日  | ・令和2年度 実施計画の確認について<br>・新規参加団体「しもたか希望の家 ibuki」の事業内容の説明について<br>・事例検討会 「就労継続支援B型事業所 利用者のアセスメント」について(障害者雇用支援センター) | 18名 |
| 第5回        | 8月11日  | ・障害者雇用対策の現状とハローワークの支援について(ハローワーク新宿)<br>・事例検討会 「就労継続支援B型事業所での就労準備支援」について(アゲイン)                                 | 17名 |
| 第6回        | 9月8日   | ・事例検討会 「就労移行支援事業所での就労準備支援」について(SAKURA 杉並センター)<br>・外部講師による研修等の検討<br>・近況報告・連絡事項                                 | 19名 |
| 第7回        | 10月13日 | ・事例検討会 「就労移行支援事業所通所中での職場実習の実施(区の職場実習・㈱コモン計画研究所長の講話)」について(ワークサポート杉並)<br>・支援者向け「企業見学会」の検討<br>・外部講師による研修等の検討     | 22名 |
| 第8回        | 11月10日 | ・事例検討会 「就労移行支援事業所における就労定着支援事業」などについて(障害者雇用支援センターほか)<br>・支援者向け「企業見学会」の検討<br>・外部講師による研修等の検討                     | 20名 |
| 第9回        | 12月8日  | ・事例検討会 「区市町村障害者就労支援事業の職場定着支援事業」について(ワークサポート杉並)<br>・支援者向け「企業見学会」の検討<br>・外部講師による研修等の検討                          | 16名 |
| 第10回       | 1月12日  | ・就労移行支援事業所 Do-will 施設長による「在宅就労支援の取り組み(準備と実践)」について《オンライン研修》<br>・近況報告・連絡事項                                      | 17名 |
| 第11回       | 2月     | (新型コロナウイルス感染症の影響により、企業見学会中止)  |     |
| 第12回       | 3月9日   | ・令和2年度の振り返りについて<br>・令和3年度の取り組みについて<br>・近況報告・連絡事項  | 18名 |

## 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。